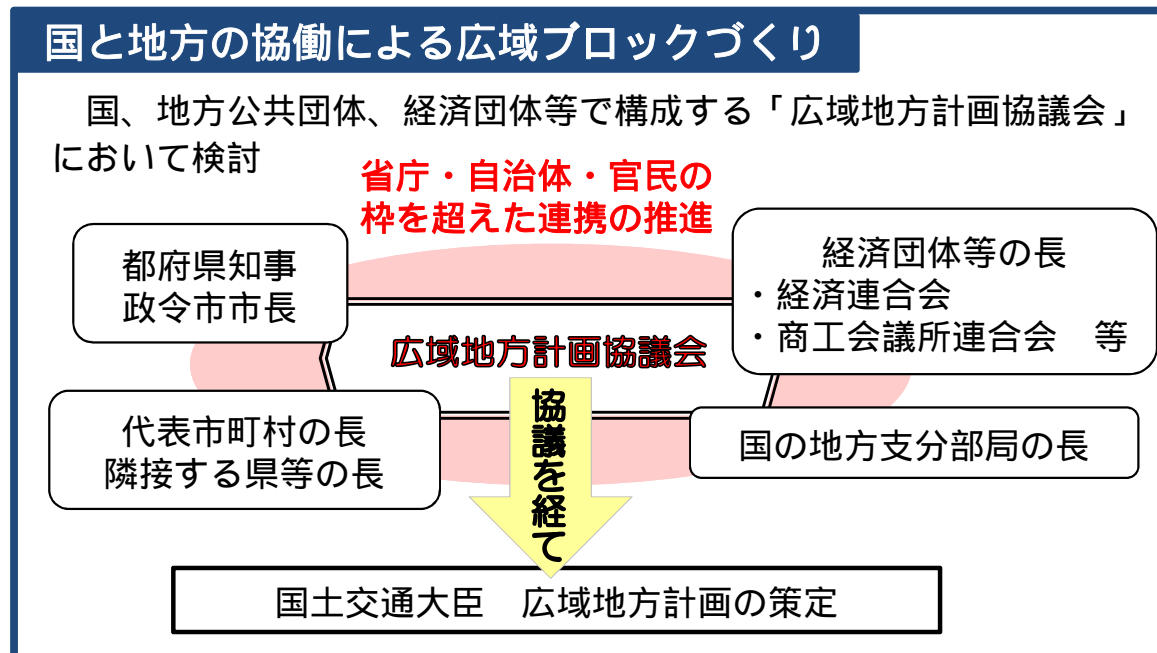
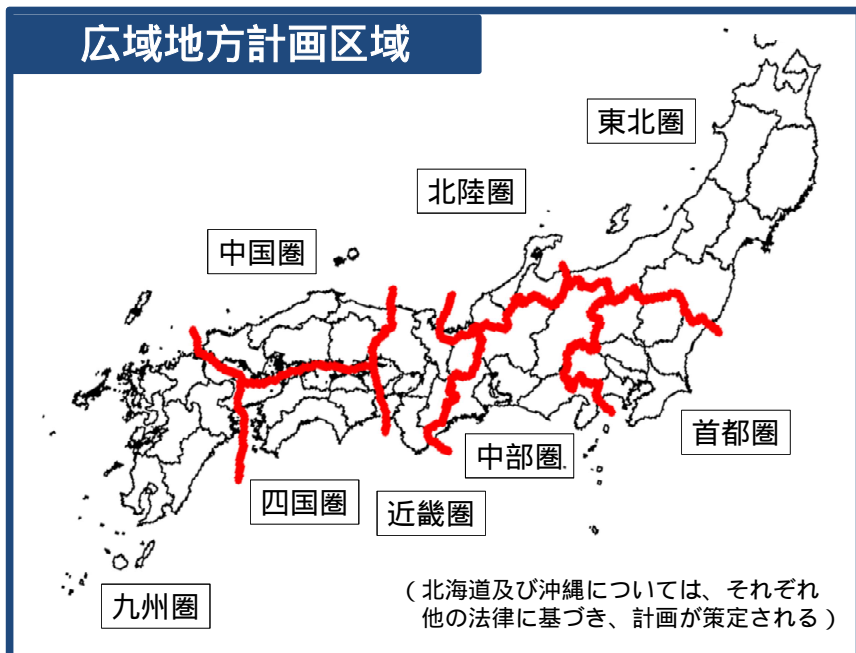


- 国土形成計画は、国土の形成を推進する総合的かつ基本的な計画で、地域整備、産業、文化、情報通信・エネルギー、環境・景観などの分野の基本的方向等について定めるもの
- 新たな全国計画(H27.8閣議決定)を基本として、全国8ブロックの広域地方計画を今年度中に改訂(現行:H21.8大臣決定)



新たな広域地方計画策定の考え方

新たな全国計画の基本構想「対流促進型国土の形成」を基本とし、各圏域それぞれが、「コンパクト+ネットワーク」により圏域内外の「地域間連携」によって、「稼げる国土、住み続けられる国土」の実現のために、概ね10年間の戦略を示す

各圏域でまとめる広域プロジェクトでは、これまでのインフラ整備によるストック効果を踏まえ「各圏域の国土構造の変化・対流の動き」をとらえた上で、今後10年間、各地域が連携して取り組むべき具体的な戦略を示す

スケジュール

平成27年	2~4月	協議会にて骨子とりまとめ
	9~10月	協議会にて中間整理とりまとめ
	10月~	市町村に対する計画提案募集
平成28年	2月	協議会にて計画原案とりまとめ
	2/8	中部
	2/15	東北・中国・九州
	2/17	北陸・四国
	2/25	首都・近畿
		パブリックコメント等
3月		国土交通大臣決定(予定)

東北圏

震災復興から自立的発展

震災復興を契機に、日本海・太平洋2面活用による産業集積、インバウンド増加により、人口減少下においても自立的に発展する圏域を目指す。

首都圏

安全・安心を土台とした対流型首都圏の構築

三環状、リニア等の面的ネットワークを賢く使い、「連携のかたまり」を創出する対流型首都圏に転換。「防災・減災」と一体化した「成長・発展」、国際競争力強化。首都圏全体で超高齢化に対応。

北陸圏

日本海・太平洋2面活用型国土の要

三大都市圏との連携、ユーラシアへのゲートウェイ機能の強化を図り、国土全体の災害リスクに対応した多重性・代替性を担うとともに、日本海側の対流拠点圏域の形成を目指す。

中部圏

世界ものづくり対流拠点

スーパー・メガリージョン形成の効果を圏域全体に行き渡らせ、北陸圏との更なる連携を図り、世界最強・最先端のものづくり産業・技術のグローバル・ハブを目指すとともに、多様な観光産業を育成。

近畿圏

歴史とイノベーションによるアジアとの対流拠点

スーパー・メガリージョンの一翼を担うため、知的対流拠点機能を強化し次世代産業を育成。圏域中央部から北部・南部まで、各地の個性を活かした多様な観光インバウンドの拡大を図る。

中国圏

多様な拠点のネットワークによる重層的な対流促進

瀬戸内海側の産業クラスター、中山間地の自立拠点、日本海側の連携都市圏などの多様な拠点間のネットワークを強化し、圏域を超えた産業・観光振興を図る。

四国圏

圏域を越えた対流で世界へ発信

中国、九州、近畿等との対流を促進し、瀬戸内海沿岸に広がる素材産業・製造業やグローバルニッチ産業の競争力強化、滞在・体験型観光によるインバウンド拡大を目指す。

九州圏

日本の成長センター～新しい風を西から～

アジアのゲートウェイとして、アジアの成長を取り込み、高速交通ネットワークを賢く使い、中国、四国を始めとする他圏域との対流促進を図る「日本の成長センター」を目指す。

東北圏

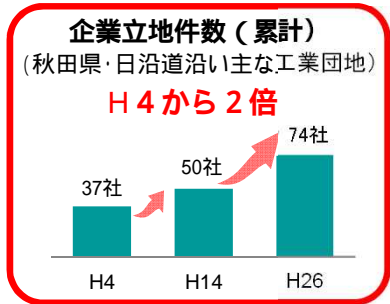
日本海・太平洋2面活用の強化による物流機能強化、代替性確保
 新産業の創造、既存産業との融合による新たな雇用創出
 滞在交流型観光圏の創出による交流人口の拡大

震災復興から
 自立的発展

日本海・太平洋2面活用の強化

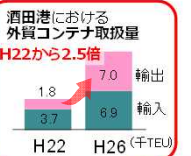
輸送ルートの多重化等、大規模災害時における代替性（リダンダンシー）の確保
 震災対策の強化、日本海側と太平洋側等の広域連携強化
 港湾や空港の機能強化による国際物流の効率化

【日本海沿岸自動車道の
 順次開通による企業進出】



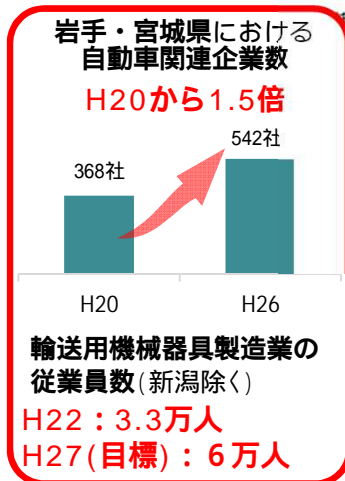
アジアユーラシア ダイナミズム

環日本海



航空機内装品の世界トップメーカーも進出
 （新潟県村上市）
 紙おむつ新工場稼働（H26.4）（山形県酒田市）

【太平洋側の自動車産業集積】



出典：中期政策（2013～2015年度）（東北地方経済産業局）

研究開発の推進等による新産業の創造

産官学連携の推進による
 クラスタ形成・
 ベンチャー企業の創出

医療機器産業の集積

医工連携マッチング・治療臨床機会の拡大

庄内が育てた最先端ベンチャー

山形県 鶴岡市

後岡メタホロムクラスター

人工クモ糸繊維

約7,000億円の
 市場規模・
 量産化に成功

ベンチャー企業4社が誕生

出典：Spiber株式会社

【高度なロボット技術を用いた手術
 支援システムの開発・実証事業】

腹腔鏡下アシスト機器 — 総合制御システム

先端部多自由度
 治療機構

— 入インターフェース

出典：うつくしま次世代医療
 産業集積プロジェクトHP

○ 福島・国際研究産業都市構想
 （イノベーションコースト構想）等

研究開発・産業創造に向けた拠点形成

【廃炉技術開発試験施設】

原子炉格納容器の調査・補修
 ロボットの開発・実証試験
 燃料デブリ取り出しの実証試験
 などを実施

自然と文化を活かした滞在型観光圏の創出

○ 広域観光周遊ルートの形成

訪日外国人の目線に沿った
 「日本の奥の院・東北探訪ルート」

北海道新幹線
 （H27年度末開業予定）

出典：北海道旅客鉄道株式会社

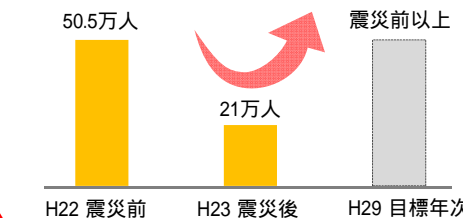
青函圏交流連携
 推進協議会

北海道新幹線の
 開通による連携強化

日本の奥の院・
 東北探訪ルート

○ 北海道新幹線の開業
 地方空港路線の維持拡大
 フェリー・クルーズ 船対応の港湾機能の充実

外国人宿泊者数（新潟除く）
 目標：H29震災前の実績値を上回る



日本海沿岸地帯
 振興連盟

北陸新幹線を
 活用した連携強化

北関東・新潟地域
 連携推進協議会

FIT構想

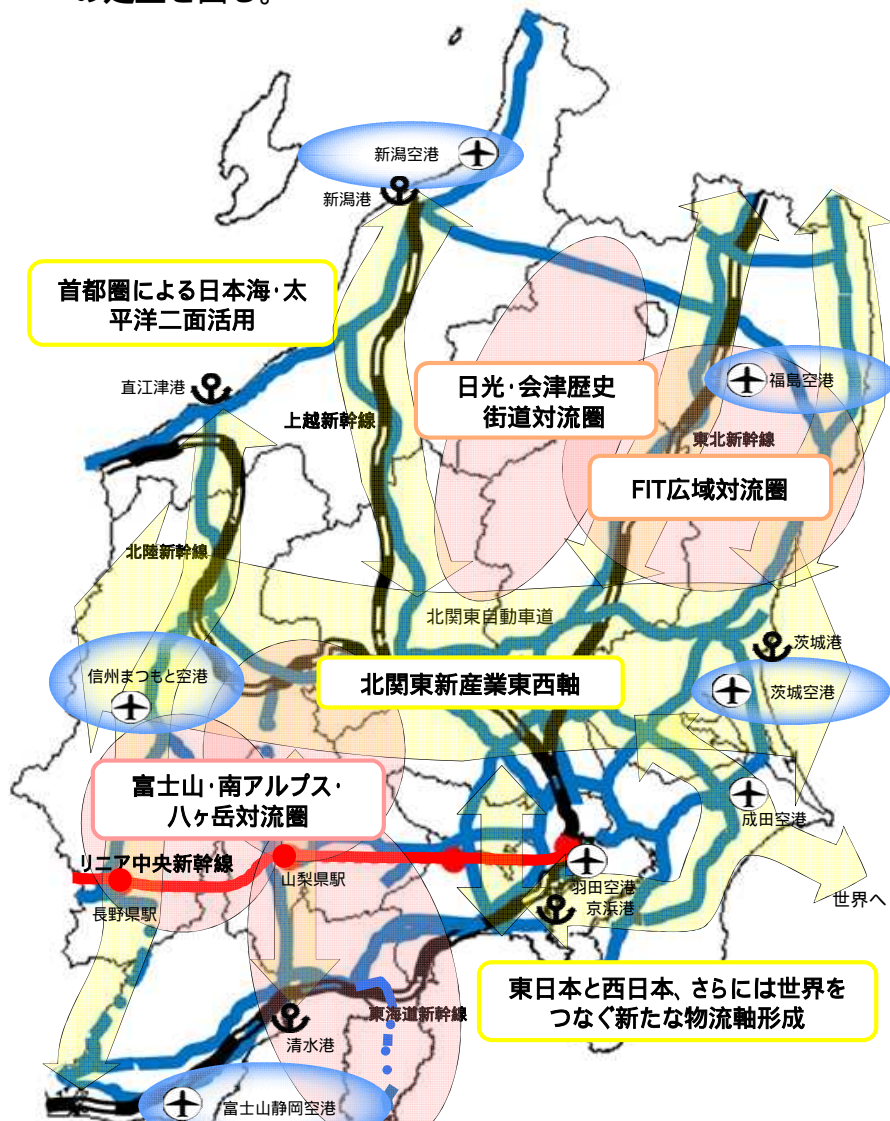
出典：東北観光基本計画（東北運輸局）

首都圏

「対流型首都圏」の構築による東京一極集中の是正
 ストック効果を最大限活かした新たな産業集積地帯の形成による国際競争力の強化
 巨大災害にも対応できるレジリエンス首都圏の構築

対流型首都圏の構築

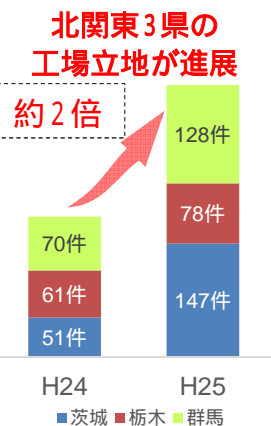
対流を生み出す「連携のかたまり」を首都圏全域で創出し、対流型首都圏を構築することにより、東京一極集中の是正を図る。



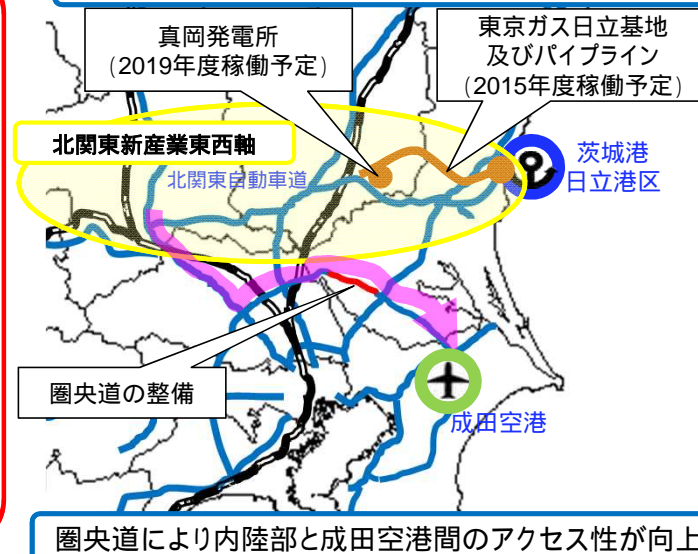
新たな産業集積地帯の形成による国際競争力の強化

北関東自動車道沿線を新たな産業集積地帯へ（北関東新産業東西軸）

北関東自動車道の開通（H23.3）により、茨城港へのアクセス性が向上



ガスパイプライン等の整備による周辺産業の活性化



レジリエンス首都圏の構築

「連携のかたまり」同士の連携により、防災力を向上

< 首都圏防災軸 >

非常時に首都圏防災軸を活用して、人物資・エネルギー（水素、LNGなど）等を各拠点にある医療施設、避難施設等へ速やかに搬送



首都圏防災軸（水平方向）

東京湾アクアライン、多摩川緊急河川敷道路等で構成

首都圏防災軸（垂直方向）

航路、水路、荒川緊急河川敷道路等で構成

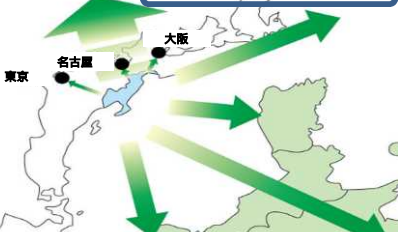
北陸圏

日本海側における環日本海・環太平洋に拓かれた我が国の一大産業拠点の形成
 伝統的な医薬関連産業等の地域産業からイノベーションを起こす産業クラスターの形成
 北陸新幹線等を活かした観光圏域の形成

環日本海・環太平洋に拓かれた産業拠点の形成

日本海・太平洋2面活用型国土の要

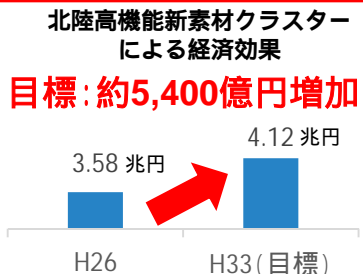
3大都市圏と等距離



環日本海諸国と対面

北陸高機能新素材クラスター構想

炭素繊維複合材料、ナノテク材料、マグネシウム・チタン等の軽金属材料等の生産・加工地域を形成



地域産業からイノベーションを起こす産業クラスター

北陸ライフサイエンス産業クラスター構想

富山・石川・福井の3県が、ライフサイエンス分野で産学官金37団体と連携し、バイオ医薬品、機能性食品の開発、漢方の産業化、医療機器等のクラスター形成を目指す

【研究例】地域産業

(株)シャルマン
眼鏡フレーム製造の技術を生かし医療機器業界に参入

医療分野

福井大学医学部
(株)シャルマンから研究者を招聘



眼鏡フレーム



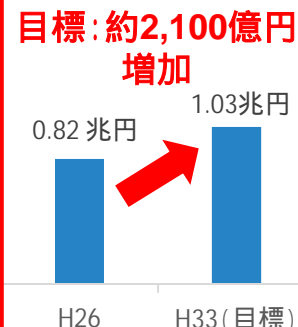
脳神経外科用剪刀



X線透過型開創器

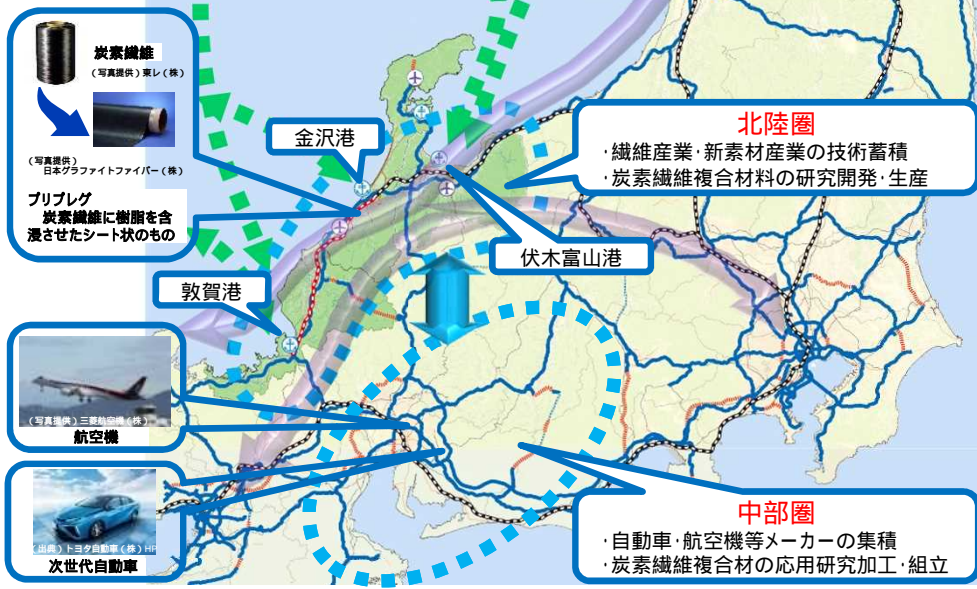
(写真提供) (株)シャルマン

北陸ライフサイエンスクラスターによる経済効果



東海・北陸連携コンポジットハイウェイ構想

北陸と中部が連携し、炭素繊維複合材料に関する研究開発から生産・加工・組立までを行う世界的な拠点を目指す



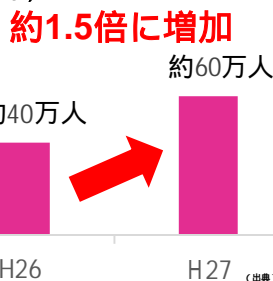
北陸新幹線等を活かした観光

北陸新幹線等の高速交通基盤を最大限活かし、隣接圏域との広域的な対流・交流を創出

【広域観光ルートの例】

昇龍道 (重点ルート)
 (広域観光周遊ルート形成計画)

北陸新幹線開業による観光客増加GW中の主要観光施設入込客数(石川県)



リダンダンシーの確保

(高規格幹線道路網の充実など)



防災ネットワークの構築

(災害に強い物流システムの構築、TEC-FORCEの迅速な派遣など)



中部圏

中部のものづくりが有する力に更なる磨きをかけ、世界最強・最先端のものづくりへの進化
 リニアをはじめ高速ネットワークを活かした広域連携、多様な広域観光交流圏を形成
 中部圏・北陸圏が一体となり、ネットワークの多重性・代替性を確保

ものづくり中部・世界最強化

戦略産業の強化、新産業の創出・育成

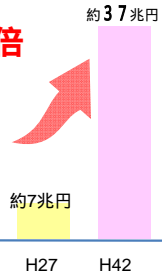
- 次世代自動車関連産業、航空機産業

世界における水素産業の市場規模

今後15年で約**5倍**



(出典)トヨタ自動車HP
▲FCV(MIRAI)



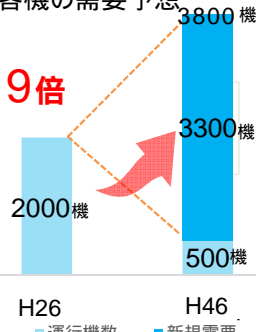
出典：世界水素プロジェクト総覧（日経BPクリーンテック研究所）

小型リージョナル旅客機の需要予想

今後20年で**1.9倍**



(写真提供)三菱航空機
▲MRJ初飛行 (H27.11.11)



出典：民間航空機に関する需要予測（一般財団法人日本航空機開発協会）

中部のものづくりを支える産業基盤の強化

- 東海環状自動車道（西回り）の整備による産業集積

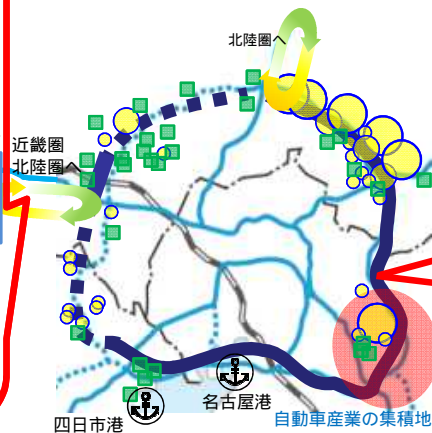
西回りの開通効果

時間短縮効果



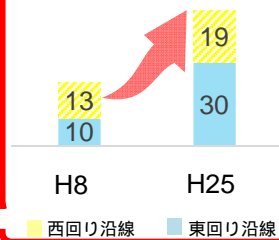
沿線工業団地の雇用者数

約**3万人増加** (H12 H26)



工業団地立地件数

東回り **3倍**
西回り **1.4倍**



工業団地のH13年以降の立地企業数
 7以上
 4-6
 1-3

H13年以降に立地した商業施設

新たな観光交流おもてなし

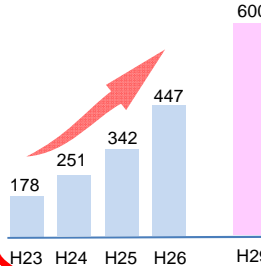
広域観光周遊ルート

- 「昇龍道」
- 将来の高速ネットワークの拡充を活かした広域観光ルート



昇龍道9県の外国人宿泊者数の伸
 目標：H29

600万人泊



中部・北陸圏強靱化

ネットワークの多重性・代替性の確保

北陸新幹線の延伸

重要交通網を保全する
 土石流対策、地すべり対策



出典：昇龍道プロジェクト（中部運輸局、北陸信越運輸局及び中部広域観光推進協議会）

近畿圏

健康・医療産業や新エネルギー産業を中心とした、イノベーション創出に向けた取組
 歴史・文化資産等の地域資源を活用した誘客と人材交流の促進
 防災・減災対策を推進することによる強靱な圏域の形成

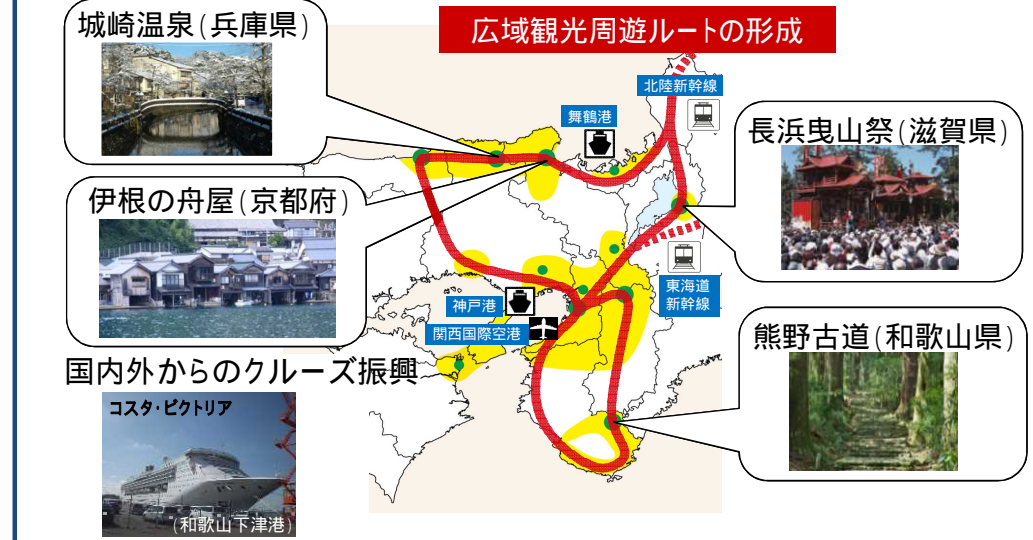
先端産業のイノベーション創出に向けた取組

企業・研究機関を結びつけた**関西イノベーション国際戦略総合特区**（健康・医療産業分野）や**国家戦略特区**を形成

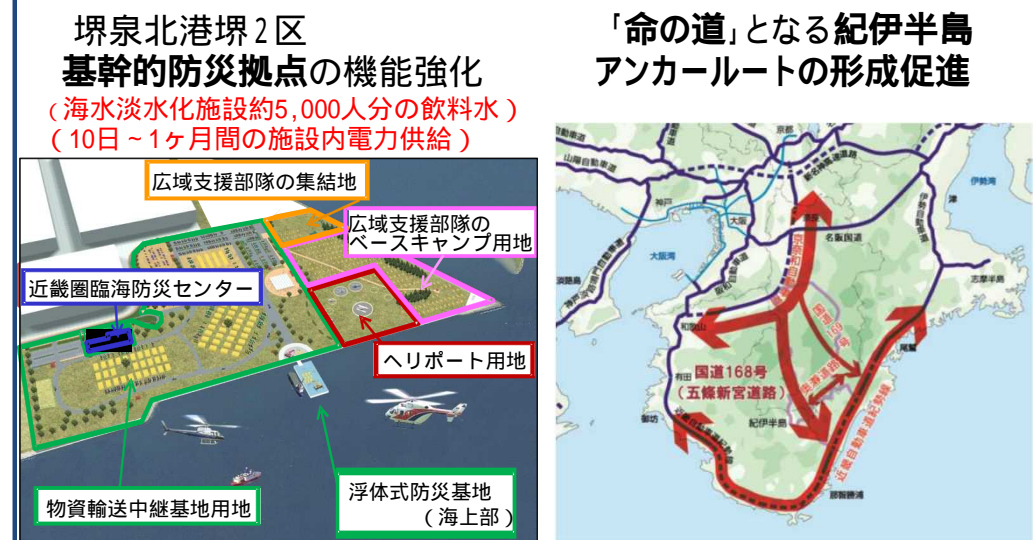


地域資源を活用した誘客の促進

圏域南部・北部の地域資源を活用
目標：訪日外国人旅行者数800万人、旅行消費額1兆円を目標



防災・減災対策の推進による強靱な圏域



出典：関西イノベーション国際戦略総合特区（京都府・大阪府・兵庫県・京都市・大阪市・神戸市）

出典：関西広域観光戦略（関西経済連合会）

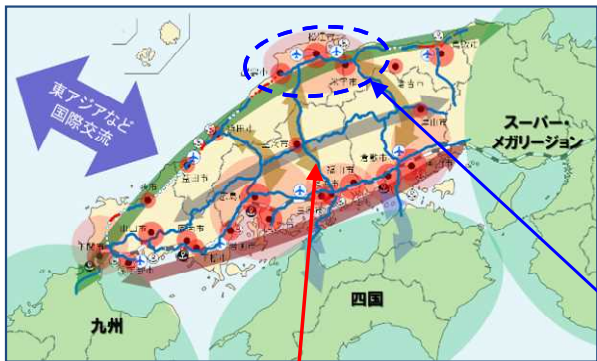
中国圏

重層的なネットワーク形成による対流促進型圏域づくり
 雇用・生活サービス機能の確保等を通じた中山間地域等の振興、災害対策の推進
 ものづくり産業の競争力強化、観光振興等経済の活性化

基幹交通の整備によるネットワーク強化

都市間の多様な連携推進のための高速交通ネットワークを強化

格子状ネットワークのイメージ



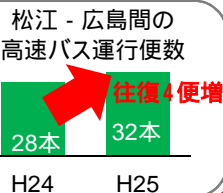
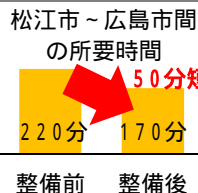
中海・宍道湖・大山圏域



行政上の共通課題等について
 連絡調整を行い、圏域の統合的・
 一体的な発展の推進を図る。

圏域内企業の
 ビジネスマッチング
 商談件数 **531件**
 (H27年度)

尾道松江線の整備効果



中山間地域等の振興、災害対策の推進

地域の魅力を活かした移住・定住の促進

「A級グルメのまち(島根県邑南町)」
 野菜の栽培から地元食材を使った料理の
 提供を目指す起業家の育成

年間売上: 約3200万円
 年間客数: 2万4千人



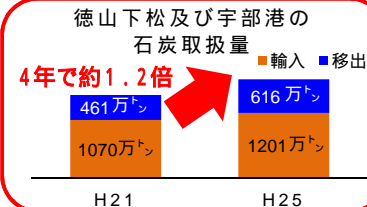
土砂災害・水害対策等の推進

- ・砂防堰堤等ハード対策
- ・自助、共助の体制等による地域防災力向上
- ・無人ヘリによる情報収集の高度化・迅速化等

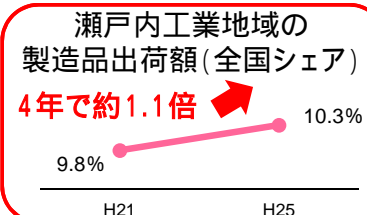


国際物流機能の強化、広域観光の推進

国際バルク港湾整備と物流ネットワークにより、バルク貨物の輸入・
 移出入の西日本の拠点形成



輸送効率化により
 年間 **約23億円** コスト削減



化学・鉄鋼業・製造業等の
100億円以上 設備投資を誘発

一般社団法人せとうち観光推進機構(日本版DMO)等を活用した瀬戸内観光等の推進

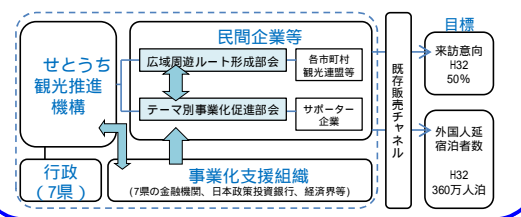


広域的な観光周遊ルート



明治日本の産業革命遺産
 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業

瀬戸内ブランド推進体制



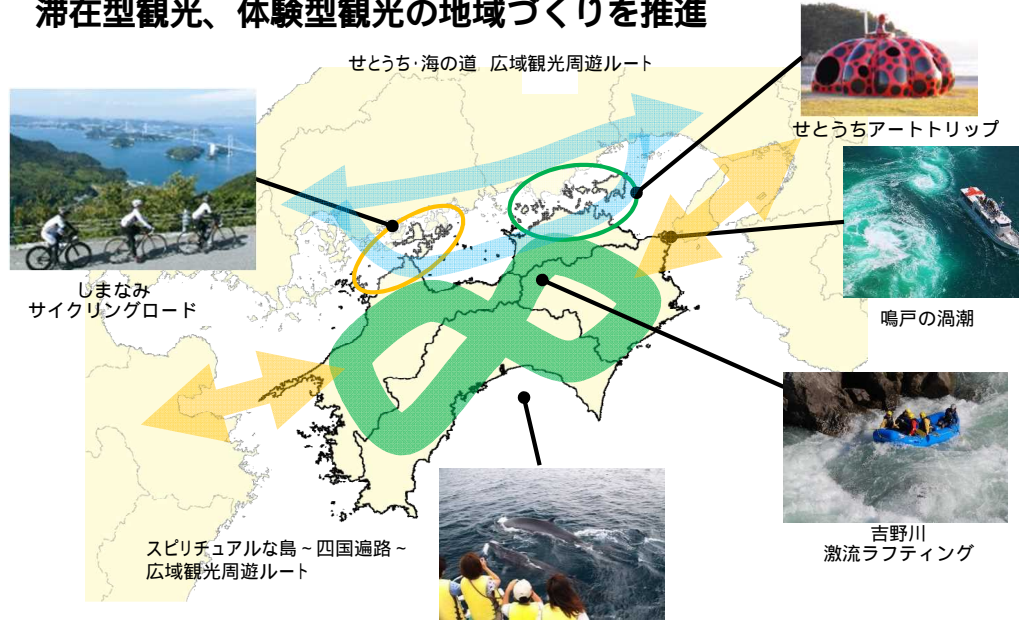
外国人延宿泊者数 2013年: 120万人 2020年: **360万人**

四国圏

環瀬戸内海地域の魅力を国内外に発信し、圏域を越えた対流促進
 南海トラフ地震や津波、自然災害に対する安全・安心の確保
 地域資源や技術を活かし、世界に通用する産業競争力の強化

魅力を国内外に発信し圏域を越えた対流促進

滞在型観光、体験型観光の地域づくりを推進



四国八十八景による魅力発信



お遍路等の国際的な評価

米 ニューヨーク・タイムズ紙
 で「2015年に行くべき52カ所」
 に日本で唯一掲載



『サイクリング・アイランド四国』として観光客を誘致

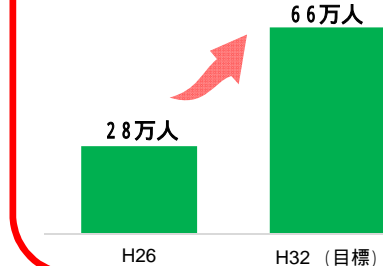
四国一周サイクリングルートと自然
 や食文化等と併せて情報発信



自転車走行レーンの表示
 (ブルーライン)

四国の外国人延べ宿泊者数

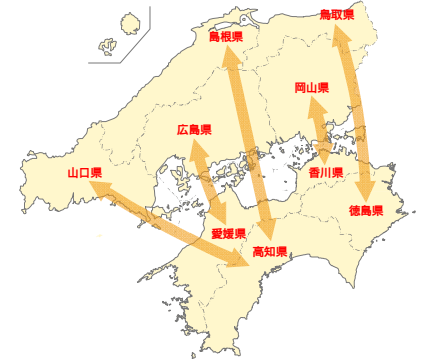
目標: 倍増



南海トラフ地震や津波、自然災害に対する安全・安心の確保

安全、安心を支える基盤として
**四国8の字ネットワークの
 形成と海岸堤防の補強 等**

カウンターパート制による
 被災県への支援体制の構築



地域資源や技術を活かし世界に通用する産業競争力の強化

次世代マテリアル・クラスター四国の形成

高性能素材を使いこなして産業の競争力強化
 に貢献する企業群を四国に創出



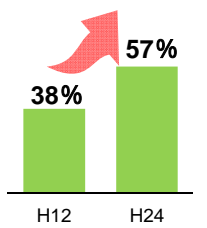
炭素繊維を用いた木造建築用集材材

四国産品の付加価値を高め、販路開拓・拡大



愛媛県産 マダイの全国シェア

1.5倍の増加



九州圏

アジアゲートウェイ機能の強化により、我が国の経済成長に貢献することを目指す
 多様なネットワークの形成により、九州圏の活力を創出する交流・連携を促進
 九州圏の基幹産業や地域産業の活性化、安全・安心の確保

日本成長センター「ゲートウェイ九州」の形成

[ゲートウェイ機能の強化]



博多港等の機能強化

クルーズ船の寄港増に対応した博多港の機能強化を推進

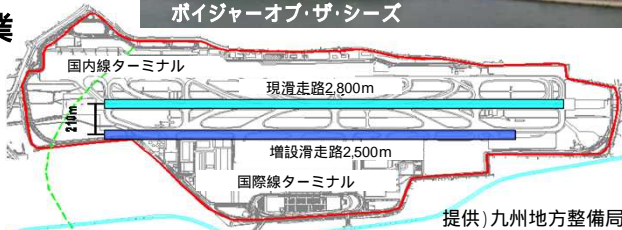
博多港の外航クルーズ客船寄港回数

H23年:32回
 H27年:245回 **5年間で7.7倍**



福岡空港滑走路増設事業 (平成27年度着手)

慢性的な航空機混雑を解消するため、福岡空港の滑走路増設に着手



九州圏の活力を創出する交流・連携の促進

[アジアにおける一大観光地づくり] 広域観光ルート等の形成



外国人旅行者数 H22年:100万人 H35年 440万人 (約4倍増)

出典:第二期九州観光戦略(九州観光推進機構)

基幹産業等の活性化、安全・安心の確保

[自動車産業の競争力強化]

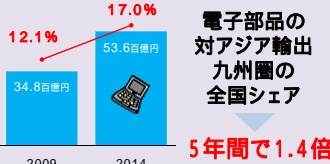
・東九州自動車道等の整備に伴う、圏域内での部品調達の拡大
 ・次世代自動車の生産・開発拠点の構築等

自動車生産台数 H26年度:130万台
 H35年度までに国内シェア20%
 または180万台(約1.4倍増)

出典:北部九州自動車産業アジア先進推進プロジェクト
 (北部九州自動車産業アジア先進拠点推進会議)

[半導体関連産業の新分野進出]

・アジアにおける先端LSI(大規模集積回路)開発拠点を形成



[成長産業分野の振興]

・東九州メディカルバレー構想特区等による医療機器産業の育成・振興

- 川澄科学工業(株)
 ・透析用血液回路
- ・輸液・輸血キット、血液パック(日本No.1)
- 東郷メディキット(株)
 ・カテーテル、留置針(日本No.1)

[農林水産物の輸出促進]

・オール九州で農林水産物を海外展開

九州農水産物直販(株)
 九州各地から仕入れ

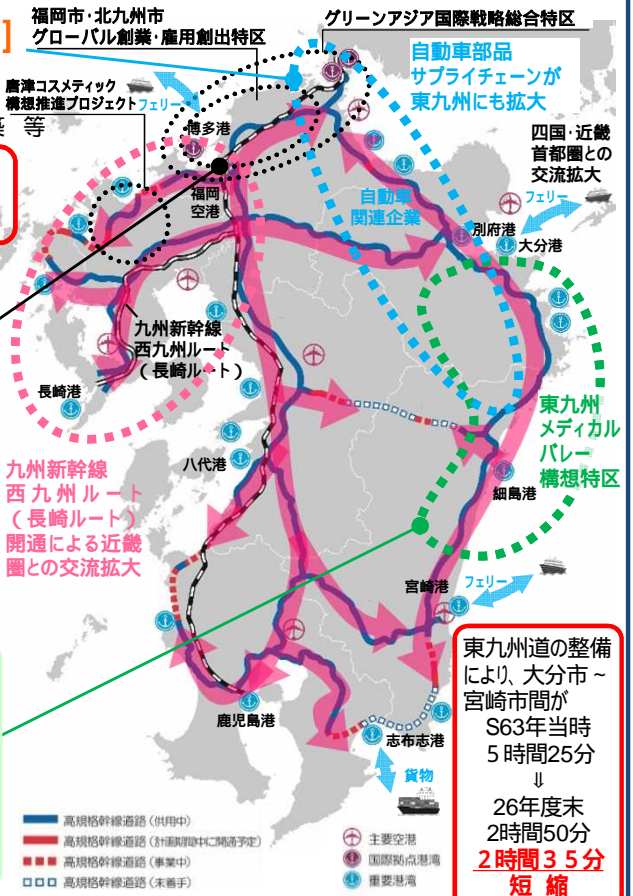
注文 ↑ 船便 ↓
 香港のスーパー

アジア1,200店

鮮度を保つコンテナ活用
 従来の航空便に比べ
 コストを1/10に削減

農林水産物・食品の輸出額
 H32年までに倍増

出典:農林水産業・地域の活力創造プラン(農林水産業・地域の活力創造本部)



東九州道の整備により、大分市～宮崎市間が
 S63年当時
 5時間25分
 ↓
 26年度末
 2時間50分
2時間35分短縮

[安全・安心の確保]

・防災・減災対策の強力な推進
 ・減災の視点も重視したソフト対策の強化
 ・広域連携体制及び支援の強化 など



ダムの洪水調節容量の増量(鶴田ダム)

ドクターヘリ相互応援(福岡県・佐賀県)